

開催日時：令和6年12月10日（火） 15時00分から16時25分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・飯田市議会第4回定例会の代表質問、一般質問への対応に感謝する。
- ・答弁で触れたが、こどもの医療費を無償化するためには4,000万円の財源が必要になる。4,000万円を捻出するには、1世帯当たり1,000円の税金を増やさないと賄うことができない。改めて市民の税負担によって事業を行っていることを感じ、身の引き締まる思いだった。
- ・これから令和7年度当初予算の査定が始まるが、市民の税負担によって実施する価値のある事業か、中身が伴っているかという視点で事業を見なければならない。部局長においても、この視点を念頭に予算を編成してほしい。
- ・保育所等の副食費に係る質問があったが、10月に保護者向けに説明するならば、それまでに決定するサイクルを構築しておく必要がある。予算査定のスケジュールを踏まえて整理し、対応すること。保育所等の副食費に限らず、同じ課題がどの程度あるか把握して対応すること。

<副市長>

- ・11月末に広域連合議会で後期広域計画の素案が示された。企画課は各部局へデータを送付するとともに、各部局においては、事務の共同処理のあり方等関係する部分があるため、目を通し意見があれば提出してほしい。

<教育長>

- ・学校給食の無償化に関わって、ある教育情報誌によると、学校給食が始まったのは明治22年に山形県鶴岡市の大督寺というお寺から始まったとのこと。時事通信の編集者は、安易に学校給食の無償化を進めると給食が維持できなくなると言っており、その通りだと感じている。
- ・ある事務の先生からは、以前赴任していた村の学校では、児童生徒が使う紙のファイルは公費で購入していたが、なぜ飯田市は自己負担なのかと言われたことがある。
- ・飯田市教育委員会の基本的な考え方としては、ノートなど児童生徒が使用して自分のものとなるものは、家庭で負担していただいている。少子化の進みにより、個人で消費するものを公が負担する方向性が強くなっていると感じる中、どこで線引きをするべきか悩むところである。
- ・無償化競争はいかなものかと思う一方で、保護者負担は軽減したい思いもあり、予算編成において悩ましいところである。税の使い方をしっかりと検討したい。

2 報告事項

(1) 人事行政の運営等の状況について

◇趣旨

- ・人事行政の運営等の状況について報告する。

◇意見

(危機管理部長)

- ・戒告処分の内容は何か。

(人事課長)

- ・戒告処分の内容は、交通事故である。

(危機管理部長)

- ・公務災害の増減の傾向はどうか。

(人事課長)

- ・前年比6件増えている。

(市長)

- ・公務災害の内容は何か。

(人事課長)

- ・学校や保育園で子どもが怪我を負ってしまった内容などである。

(企画部長)

- ・閉会日全員協議会に向けて準備をしておくこと。

(2) 令和6年度一般会計補正予算（第6号）について

◇趣旨

- ・令和6年度一般会計補正予算（第6号）について報告する。

(3) 「飯田市ツーリズムビジョン」について

◇趣旨

- ・「飯田市ツーリズムビジョン」について報告する。

◇意見

(議会議務局長)

- ・観光振興ビジョンとツーリズムビジョンの整合性やコロナ禍以降での観光振興ビジョンの見直しの状況はどうか。

(商業観光課長)

- ・観光振興ビジョンにはコロナ禍を経て変化のあった観光のあり方は反映されていない。観光振興ビジョンの見直しの必要性について議論する必要があると考えている。

(市長)

- ・観光振興ビジョンは、いつ作ったか。ツーリズムビジョンとの関係性を明確にしておくこと。

(商業観光課長)

- ・2017～2027年の11年間の計画で作成した。

(企画部長)

- ・関係性を説明できるように準備しておくこと。

(4) 第2次飯田市教育振興基本計画後期の取組（素案）について

◇趣旨

- ・第2次飯田市教育振興基本計画後期の取組（素案）について報告する。

◇意見

(市長)

- ・「ムトスの学び」は、学校教育にも社会教育にも関わるものである。概要版では「ムトスの学び」が学校教育にしか関わらないように読み取られかねないため、最終的にまとめる際には、正確に伝わるように留意すること。

(生涯学習・スポーツ課長)

- ・指摘を踏まえて表現等を工夫する。

(教育次長)

- ・学校教育と社会教育が絡み合うことが「ムトスの学び」であり、当市の特長である。説明の仕方も工夫する。

(5) 飯田市スポーツ推進計画【第3次改訂版】(素案)について

◇趣旨

- ・飯田市スポーツ推進計画【第3次改訂版】(素案)について報告する。

◇意見

(市長)

- ・具体的な取組はこれから検討するのか。

(生涯学習・スポーツ課長)

- ・基本目標と施策の展開について、本文中に記載している。

(市長)

- ・取組の主語は、全て飯田市か。

(生涯学習・スポーツ課長)

- ・本文中に施策の推進体制とそれぞれの団体の役割を記載している。

(市長)

- ・例えば中学生女子の体力低下のように、関係者が協力して長期的に取り組まなければならない課題が多い。策定した計画を関係者と共有し、推進していくこと。

(6) 学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画(素案)について

◇趣旨

- ・学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画(素案)について報告する。

◇意見

(市長)

- ・地域や分野ごとに異なる課題に対して、どれだけフォローできるかが重要である。

(生涯学習・スポーツ課長)

- ・コーディネータが各学校を回りながら現場の声を聴き、一つずつ課題を解決できるよう、フォローしていく。

(7) 第5次飯田市立図書館サービス計画(素案)について

◇趣旨

- ・第5次飯田市立図書館サービス計画(素案)について報告する。

◇意見

(市長)

- ・「飯田市こども読書活動推進計画」とは、どのようなものか。

(中央図書館長)

- ・保育所や保健課など子どもに関わる他部署と連携し、幼少期から高校生までの系統的な読書に係る推進活動を計画するものである。市民の意見も聞きながら策定する。

(8) 飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン後期計画（素案）について

◇趣旨

- ・飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン後期計画（素案）について報告する。

◇意見

(市長)

- ・田中芳男没後110周年はいつか。

(美術博物館副館長)

- ・再来年である。

(市長)

- ・菱田春草の常設展示が充実してきている。田中芳男についてもより充実してくると特徴的な美術博物館になる。

(美術博物館副館長)

- ・田中芳男に係る資料の寄贈を受け、充実してきたところである。今年の3月からトピック展示している。

(9) 飯田市歴史研究所第6期中期計画（素案）の策定について

◇趣旨

- ・飯田市歴史研究所第6期中期計画（素案）の策定について報告する。

◇意見

(市長)

- ・公文書館については、4年間で方向性が出せるように検討すること。

(10) 飯田市議会全員協議会（閉会日）報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会全員協議会（閉会日）報告事項について報告する。

(11) 第4回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・第4回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

3 その他、連絡事項

4 閉会